

南部圏域振興計画・課題解決プラン改訂版の概要

1 安全・安心して暮らせる地域づくり

(1) 南海トラフ巨大地震や頻発・激甚化する風水害などの災害対策の強化

◆ソフト施策の推進

- 昭和南海地震70年事業として、フィールドワーク・フォーラム等の実施
- 「迎え撃つ！防災減災県南プログラム」の推進
 - ・ 複合災害に対応した避難訓練、FCP(家族継続計画)の普及
 - ・ 「ほしいものリスト」を活用した情報発信、ボランティアを受け入れる仕組みづくり
 - ・ 「津波減災県南モデル」の普及・情報発信
 - ・ 自衛隊ヘリによる夜間搬送訓練など、関係機関と連携した防災訓練の実施



昭和南海地震

◆ハード施策の推進

- 那賀川の河川整備等の推進（那賀川再生推進プログラム）
 - ・ 長安ロダムの改造
 - ・ 和食・土佐地区、深瀬・加茂地区等の河川整備
(和食・土佐地区: H27.5.22事業説明会、H27.10.26～地元説明会、H28.1.21～用地説明会)
- 陸閘・樋門の自動化や統合、堤防等の地震・津波対策を推進
- 海部川モデルとして、堆積砂利の撤去・有効活用を推進

和食・土佐地区河川整備
イメージパースH28.1.30
海部川砂利利用促進協議会設立

主要業績指標

- 防災講座等の受講者数
②523,115人 → ②732,611人(H28.1末現在)
→ ③051,000人(累計)
- 長安ロダムの改造の促進
②5工事中 → ③1完成
- 那賀川和食・土佐地区の床上浸水対策特別緊急事業の推進
②7事業着手 → ③1完成

(2) 誰もが安全・安心できる暮らしの確保と向上

◆災害医療を含む地域医療の充実・強化

- 医師不足に対応するため、南部圏域の公立病院が一体となった医療提供体制(海部・那賀モデル)を構築
(H27.11.21海部・那賀モデル推進協議会設立・海部病院から上那賀・海南の2病院に医師を派遣中)
- 県内3大学からの学生実習を受け入れ、災害医療・看護に重点をおいた臨地実習を実施



新海部病院

◆健やかに暮らせる保健・福祉・医療等の連携体制の充実・強化

- 医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」を構築
- 地域における高齢者支援の充実を図るため、認知症サポーターを大幅に拡大
- 災害時における妊産婦や子どもに対する支援を推進

◆子どもや女性など、みんなが安全、安心して暮らせる地域づくり

- 阿南市配偶者暴力相談支援センター等の関係機関と連携し、DV対策を強化

主要業績指標

- 南部圏域の公立病院が一体となった医療提供体制(海部・那賀モデル)の構築
②7着手 → ③0構築
- 災害医療・看護に重点を置いた臨地実習受講者数
②5- → ②7106人
→ ③0410人(累計)(200人)
- 認知症サポーター数
②5788人 → ②73,688人(H27.12末現在)
→ ③010,000人(累計)

2 県南ならではの産業による地域づくり

(1)もうかる農林水産業の推進

◆世界にはばたく農畜水産物のブランド化・6次産業化の推進

- 次世代施設園芸の推進(きゅうりタウン構想・次世代トマト生産システム)により新規参入・移住就農を促進
(H27.10.13海部きゅうり塾の開講、H28.2スマートハウスを活用した県内初のきゅうり水耕栽培開始)
- 「木頭ゆず」や「阿波尾鶏」の一層の販路・輸出の拡大を図り、更なるブランド化を推進
・「木頭ゆず」の新たな海外市場の開拓・船便での輸送試験等の実施や、地理的表示(GI)の県内初となる取得支援
- 海部水産物のブランド化、6次産業化の推進、藻類養殖の本格導入
(H28.2.5美波の海の恵み研究会が海部郡産海藻の生産・加工品販売について岡山の企業と協定締結)
- カツオやマグロ類を滞留させる中層型浮魚礁の設置を推進

GIマーク



H27.10.13
海部きゅうり塾開講

◆「森林大県・徳島」を牽引する林業の推進

- 主伐に対応する高性能林業機械の導入支援やサテライト土場を活用した安定供給体制の構築(H27年度那賀町舞ヶ谷地区でサテライト土場を整備)・H28.4稼働予定
- 「とくしま林業アカデミー県南実習地」を拠点として、林業従事者を育成
- 「ウッドソリューションセンター」を核とした事業地の拡大・集約化による増産体制の強化



高性能林業機械

主要業績指標

- きゅうりタウン構想による年収1千万円超の戸数
②5- → ③020戸
- 農畜水産物の輸出量
②510t → ③030t
- 県産材の生産量
②513.6万m³
→ ③020万m³

(2)ひとと環境に優しい産業振興

◆資源循環型農業の推進

- 海部産の有機質肥料(かいふエコ肥料)を活用し、耕畜連携による循環型農業の推進
(海部地域だけでなく、南部圏域全体へ拡大)
- 圏域において生産された飼料用米を阿波尾鶏に給与する地域内流通システムを構築
(H27年度産飼料用米360tの地域内流通を実施)



フレコンバックでの飼料用米保管

◆地域の資源を活かし育む取組み

- 南部圏域の素材を活用した南阿波グルメを開発促進し、PRを強化することで、販売を拡大
(きゅうりや木頭ゆずを使ったスイーツの開発)
- 平時・災害時にリバーシブルに活用できる「阿波尾鶏」加工品の開発推進



木頭ゆずスイーツ

◆LEDを核とした産業の振興

- 省エネルギー及び環境対策のため、道路照明灯や防犯灯のLED化を推進(H27県管理道路において72基設置見込)

主要業績指標

- 資源循環型農業の取り組み農家数
②5155戸 → ③01,000戸
(4年間累計)
- 南阿波グルメの販売金額
②51,500万円
→ ③05,000万円
- 平時・災害時にリバーシブルの活用できる「阿波尾鶏」加工品の開発数
②52商品 → ③08商品

3 交流がひろがる地域づくり

(1) 圏域の自然とその恵みの体感による観光振興

◆豊かな自然や歴史文化を活かした体験型観光の振興

○「四国の右下」の魅力を体感できる着地型観光商品の開発

・「観光マネジメント塾」の開催や観光事業者のネットワークづくり

○「アウトドアスポーツ」や「南阿波グルメ」、「文化」を組み合わせたほんもの体験ツアーの実施

○企業、大学等のスポーツ合宿誘致を推進(選抜高校野球で優勝した敦賀気比高校を含む28団体が阿南市及び海陽町で合宿)



南阿波よくばり体験

◆世界に誇るアウトドアフィールドの提供

○東京オリンピックや関西WMGを見据えたインバウンド受入体制の整備や

キャンプ地の誘致(ひわさうみがめトライアスロン、「四国の右下」ロードライドで外国人モニターを招待)

・「多言語電話通訳サービス」の活用実証や「和の文化」体験

○トップアスリートプロデュースによるアウトドアスポーツイベント開催や魅力発信



うみがめトライアスロン

主要業績指標

■着地型・体験型観光による
入り込み客数

②5ー → ③010,000人
(4年間累計)

■南部健康運動公園陸上
競技場の整備

②7事業着手

■世界に通じるアウトドア
スポーツイベント数

②5ー → ③06スポーツ

(2) 「四国の右下」ファンづくりによる交流人口の拡大

◆「四国の右下」の効果的な魅力発信・新たな魅力づくり

○「四国の右下」の食をはじめ、地域特産品の販売・PRする「まけまけマルシェ」の開催

(「全国丼サミットinあなん」(H27.11.28~29)の来場者数約6万人)

○食やイベントなどの地域情報の一元化、発信力強化



全国丼サミットinあなん

主要業績指標

■「四国の右下・まけまけマル
シェ」等による集客数

②5ー → ③040,000人

(3) 地域交通体系の整備促進

◆高速道路、地域高規格道路等の整備促進、地域交通の確保

○四国横断自動車道、阿南安芸自動車道の整備促進

○国道55号阿南道路の4車線化など主要幹線道路の整備促進

○国道195号出合大戸バイパスや海部病院の高台移転にあわせた日和佐牟岐線の整備推進等

(阿南小松島線黒河バイパス開通(H27.12.20))

○DMV導入に向けた取組みの促進



(仮称)新那賀川橋

主要業績指標

■四国横断自動車道
(小松島~阿南)

②5工事施行中
→ ③0工事促進中

4 自然とともに歩む地域づくり

(1)美しく豊かな自然環境の保全と利活用

◆地域の環による自然保護活動と利活用

- ビーチコーミングなどの海からのめぐみを活用した持続可能なまちづくりの推進
(H27.9.19～23ひわさ海キラッ☆まつり開催、H27.10.17～18漂着物学会徳島大会開催)
- 「千年サンゴ」の保護活動の強化と利活用による地域活性化
(H27.12.7日本ユネスコ協会連盟「プロジェクト未来遺産」に登録)・学生ボランティアダイバーの育成
- 環境や防災面で重要な森林の公有化を推進



H28.2.10未来遺産登録記念式典

◆鳥獣害対策の推進、野生生物の適正管理

- 侵入防止柵やモンキードック育成など集落ぐるみで取り組む総合的な鳥獣被害対策の推進
- シカ肉の供給システムの改善、加工商品の開発・ブランド化
(H27シカ牧場出荷数約35頭)
- 初心狩猟者研修会への講師派遣や広報活動による狩猟者の確保
(狩猟免許新規合格者数85名)



シカ牧場

主要業績指標

- 「海からのめぐみ」を活用したまちづくり参加者数
②5ー → ②71,873人
→ ③01,900人(1,300人)
- 公的管理森林面積
②5850ha → ②71,400ha
→ ③03,000ha
- 集落ぐるみで鳥獣害対策に取り組むモデル集落数
②5ー → ②72集落
→ ③010集落

(2)自然エネルギーの利活用

◆自然エネルギーの「宝庫」の利活用

- 未利用木質資源等を活用したバイオマス発電の促進と木材の供給体制整備
- 竹バイオマス発電への竹燃料の供給体制の検討
- 豊富な太陽光を活用した、「持続可能な漁港」の実現
(阿南・椿泊・穴喰の3漁協で太陽光パネルを設置)
- 川口ダム自然エネルギーミュージアムを核としたスマート回廊による科学体験等



バイオマス発電所(クラブウ)

◆災害に強い自立・分散型エネルギーの推進

- 移動式水素ステーションを整備
- 県及び市町の公用車を次世代エコカーに更新(県民局・阿南市・那賀町・海陽町でEVを導入)



H27.11.20
電気自動車貸与式典

主要業績指標

- 木質バイオマス発電
②5ー → ③06,000kw
- 川口ダム自然エネルギーミュージアムの整備
②5ー → ②8整備・活用

5 支え合い次世代につなぐ地域づくり

(1)ひとを呼び、育む地域づくり

◆移住・定住の促進

- 新たなライフスタイルやワークスタイルの提唱による「サテライトオフィス」の誘致拡大
 - ・サテライトオフィス滞在施設・体験施設や認定制度を活用
- 市町や移住者受け入れに積極的な住民団体へのアドバイザー機能の充実
- 市町と連携し四国の右下版CCRCを推進



SO体験施設 (海陽町・城山荘)

◆農林水産業をはじめとする地域産業を支える担い手の育成

- 就農誘致モデルの構築等による新規就農者の確保・サポート
- 大都市に乗り込んでの情報発信による担い手の確保・育成
 - (地域創生人材育成事業等により、県外から18名を誘致)
 - ・新農業人フェア、森林の仕事ガイダンス、漁業就業支援フェア等を活用した大都市へのアプローチ



林業就業相談会



H27.10.1
海部新規就農者サポート隊結成

◆若い世代の結婚、子育てを支える地域づくり

- 認定こども園の設置促進
- 病児・病後児保育を促進 (H27美波町が加わり1市2町に拡大)
- 「阿波の縁結びボランティア」を活用した独身者へのきめ細やかな支援



認定こども園

主要業績指標

- 45歳未満の移住者数
②526人 → ②7137人
(H28.1末現在)
→ ③0200人/年(100人)
- サテライトオフィス誘致企業数
②56社 → ②713社
→ ③030社
- 農林水産業新規就業者数(4年間累計)
②534人 → ③0220人
- 認定こども園設置数
②54箇所 → ②713箇所
→ ③014箇所

(2)まちを創生し、次世代につなぐ地域づくり

◆ひとが輝き、まちを支える地域づくり

- 大学や住宅対策総合支援センター等と連携した空き家・遊休施設の利活用の推進
- ドローンの活用による地域課題の解決に向けた実証実験の実施



ドローン

◆地域で広がる学びの場づくり

- 産業人材の育成を図るための「先駆的モデル」として、県立那賀高校「森林クリエイト科」を活用
 - ・海部地域の中学生・教員・保護者を対象にした進学支援、徳島大学・高知大学を新たに加え高校生と交流
- 小中高等学校の児童・生徒を対象とした「森林・林業体験学習」の実施
 - (H27那賀町内の中高校生を対象に5回開催・延べ382名が参加)
- 南部圏域をフィールドとした県内外の大学生による研究・実習の充実・強化



森林体験教室

主要業績指標

- 大学と連携した建物悉皆調査地区数
②5— → ②72地区
→ ③08地区(累計)
- 南部圏域でのフィールドワーク参加大学数
②54大学 → ②711大学
→ ③018大学(12大学)